

ArgusGW アップデートガイド (Spring '22)



Argus サポートデスク

2022/01/11

もくじ

1 はじめに	2
1-1 リリース情報.....	2
1-2 語句の表現について.....	2
2 リリースノート	3
3 ArgusGW 旧バージョンのデータ削除用ツールの追加 {No. 1}	4
3-1 削除実行の影響等	4
3-2 削除実行の手順	5
3-3 削除実行後の確認方法	9
3-3-1 『開始日指定』を選択して実行し、まだ指定日が訪れていない場合.....	9
3-3-2 『即時』を選択したか、『開始日指定』を選択した際の日時が過ぎている場合	10
4 《活動》オブジェクトのカスタム項目のメンテナンス {No. 3}	11
4-1 変更による影響等	11
4-2 対象項目リスト	11
4-3 項目の削除方法	12
5 一覧画面のアイコンサイズの調整 {No. 5}	14
6 本資料に関するお問合せ先	15

1 はじめに

本資料は、『ArgusGW Spring'22』のリリースに関する情報をまとめたガイド資料です。

リリースノート、リリースノートに記載されているアップデート内容に関する詳細情報をご案内しております。





1-1 リリース情報

パッケージ名	argusGroupWare
リリース名	ArgusGW Spring'22
リリースバージョン	1) Ver 5.8.1 (アップデート) 2) Ver 5.9.0 (不要となったカスタム項目の除外)
リリース日 ※	1) 2022年2月8日(火曜日) AM 2:00 2) 2022年2月9日(水曜日) AM 2:00

※ 「ArgusGW Spring'22」のリリースは「アップデート」と「不要となったカスタム項目の除外」の2回に分けて実施させていただきます。本資料に記載されている内容が有効となるのは Ver 5.9.0 以降となりますのでご注意ください。


1-2 語句の表現について





本資料では、語句を以下のように表現します。

表現	意味	例
	選択箇所	画面内で選択箇所を表現します。
	入力箇所	画面内で入力箇所を表現します。
>	操作の順番	設定 > 管理 > ユーザの管理 > ユーザ
【 】	機能の名前	【スケジュール】、【掲示板】、【申請承認】
《 》	オブジェクトの名前	《取引先》、《Argus3 申請情報》
「 」	項目の名前	「項目名」、「日時」、「上司」
『 』	設定/入力値	『√あり』、『√なし』
[]	ボタン、リンクの名前	[保存]、[次へ]、[新規登録]
{ }	リリースノートの番号	{No.1}、{No.2}、{No.10}
	リリースノートから詳細説明ページへのリンク	
	新たに追加された機能	

2 リリースノート

本バージョンでは、以下の機能において追加・変更がございます。

 のアイコンがあるリリースは、本ガイド内で詳細な説明をご案内しておりますので、ぜひご確認下さい。

機能	No.	区分	変更内容	詳細リンク
全般 	1	その他	現在の「ArgusGW」では使用していない旧バージョンのデータを削除するツールをご用意しました。 ※ この画面は2015年12月以前に ArgusGW(Ver 1.x.x)を導入して頂いたお客様向けのツールです。	
全般	2	変更	APIバージョンを 52 にバージョンアップしました。	
スケジュール	3	変更	《活動》オブジェクトで不要となった「ArgusGW」カスタム項目をパッケージの管理から除外しました。	
スケジュール	4	修正	「開始日」、「終了日」に入力する時刻の条件によって表示される時刻が1時間ずれる不具合を修正しました。	
掲示板 文書管理 社内メッセージ 電話メモ	5	修正	一覧画面のアイコン列に表示されるアイコンのサイズを縮小し、アイコンがすべて表示されるように修正しました。	
リンク集	6	修正	一覧画面でフォルダを選択した際のレコードの並び順が、トップページのポートレットと同じ順番にならない不具合を修正しました。	
申請承認	7	修正	画面上のラベルで「決済」となっていた箇所を「決裁」に修正しました。	
その他	8	修正	軽微な不具合を修正しました。	

3 ArgusGW 旧バージョンのデータ削除用ツールの追加 {No. 1}



対象となるお客様	2015年12月以前(Ver 1.xx)より「ArgusGW」をご利用頂いているお客様 (※)
----------	---

※ 対象のお客様は、「Argus サポート通信 vol.8」のメール本文内にてご案内しております。

2015年12月以前より「ArgusGW」をご利用頂いているお客様は、過去にデータコンバートを含むバージョンアップを実施させて頂いた経緯があり、実施前のデータはパッケージ内の別のオブジェクトにバックアップとして格納させて頂いております。

今回は当時保存したバックアップを削除する為のツールをご用意しました。

3-1 削除実行の影響等

「ArgusGW」の旧バージョン(Ver 1.x.x)をご利用の際に作成された不要レコードを削除します。

重要 (必ずお読みください)

お客様のデータストレージに余裕がない場合、パフォーマンスの低下が起こります。

また、データストレージの使用率が100%を超えた場合、データの新規登録ができなくなります。

➤ **削除を未実施の場合の影響は以下のとおりです。**

Salesforce 組織のデータストレージが蓄積された状態となります。

(データストレージに余裕がある場合、削除を未実施でも影響はございません。)

コンバート時の注意点

- 夜間などご利用がない(少ない)時間帯での実行を強く推奨いたします。(実行予約が可能です)

コンバートによる処理内容

- 2016年6月に新バージョン(Ver 2.x.x)にデータを移行した際、バックアップとして残しているデータを削除します。およそ5年間更新されていないデータが削除対象となります。
- 実行時間の目安は **添付ファイル 500件/約 25秒** です。

データストレージに関する詳細は以下の参考リンクを参照してください。

参考リンク

- Salesforce ヘルプ : [データストレージ使用量の上限を超えた場合](#)

3-2 削除実行の手順

データ削除実行の手順は以下の通りです。

- 1) Salesforce にシステム管理者の権限のあるユーザでログインします。
- 2) Salesforce の URL の 「～.com」 の後ろに 「/apex/argusgw__ArgusConvert_OldData」 と入力し、削除ツール画面を表示します。

URL の 「～.com」 の後ろの部分消す。

argus-hyoka-dev-ed.lightning.force.com/lightning/page/home

URL の 「～.com」 の後ろに 「/apex/argusgw__ArgusConvert_OldData」 と入力する。

https://argus-install-eval4.lightning.force.com/apex/argusgw__ArgusConvert_OldData

■ ArgusGW データ削除用ツールの画面

ArgusGW バージョン1.x.xデータ削除

ArgusGWの旧バージョン(バージョン1.x.x)をご利用時に作成された、現在は未使用のデータを削除します。
バッチ実行中、ArgusGWの機能は利用可能ですが、稼働が集中しない時間帯での実行をお勧めいたします。

1. 削除実行する項目を選択してください。

1.Argus一般情報	<input type="checkbox"/>
2.Argusフォルダ情報	<input type="checkbox"/>
3.Argus閲覧履歴情報	<input checked="" type="checkbox"/> 削除済み
4.未使用オブジェクト	<input type="checkbox"/>

2. 削除バッチの実行タイミングを指定してください。

即時
 開始日時指定 [2021/12/10 11:02]

状態

実行

Copyright © Letty Co.,Ltd. All Rights Reserved.

- 3) 「1. 削除実行する項目を選択してください。」 に各項目より削除対象のレコードが存在する場合
チェックボックスが表示されますので、確認の上で削除するオブジェクトに『✓』を入れます。

ArgusGW バージョン1.x.xデータ削除

ArgusGWの旧バージョン(バージョン1.x.x)をご利用時に作成された、現在は未使用のデータを削除します。
バッチ実行中、ArgusGWの機能は利用可能ですが、稼働が集中しない時間帯での実行をお勧めいたします。

1. 削除実行する項目を選択してください。

1.Argus一般情報	<input type="checkbox"/>
2.Argusフォルダ情報	<input type="checkbox"/>
3.Argus閲覧履歴情報	削除済み
4.未使用オブジェクト	<input type="checkbox"/>

2. 削除バッチの実行タイミングを指定してください。

即時
 開始日時指定: [2021/12/10 11:02]

状態: スケジュールされていません

実行

Copyright © Letty Co.,Ltd. All Rights Reserved.

チェックボックス	説明
あり	削除対象のデータが存在する場合、チェックボックスが表示されます。 〔実行〕を押下した際、『✓あり』の状態のオブジェクトのデータが削除されます。
なし	削除対象のデータが存在しない場合、チェックボックスは表示されず「削除済み」と表示されます。

i Point

チェックボックスに『✓』を入力したオブジェクトが削除対象となります。

「4.未使用オブジェクト」の対象となるオブジェクトは以下の通りです。

オブジェクト名	API 参照名
《Argus リンク情報(※未使用)》	argusGW__LinkInfo__c
《Argus リンクの子情報(※未使用)》	argusGW__LinkDetailInfo__c
《Argus 掲示情報(※未使用)》	argusGW__BulletinInfo__c
《Argus 掲示明細情報(※未使用)》	argusGW__BulletinDetailInfo__c
《Argus 掲示板通知(※未使用)》	argusGW__BulletinBoardNotice__c

- 4) 「2. 削除バッチ実行のタイミングを指定してください。」にて実行タイミングを指定し、〔実行〕ボタンを押下します。

ArgusGW バージョン1.x.xデータ削除

ArgusGWの旧バージョン(バージョン1.x.x)をご利用時に作成された、現在は未使用のデータを削除します。
バッチ実行中、ArgusGWの機能は利用可能ですが、稼働が集中しない時間帯での実行をお勧めいたします。

1. 削除実行する項目を選択してください。

1.Argus一般情報	<input type="checkbox"/>
2.Argusフォルダ情報	<input type="checkbox"/>
3.Argus閲覧履歴情報	削除済み
4.未使用オブジェクト	<input type="checkbox"/>

2. 削除バッチの実行タイミングを指定してください。

即時
 開始日時指定 [2021/12/10 11:02]

状態

実行

Copyright © Letty Co.,Ltd. All Rights Reserved.

タイミング	説明
即時	〔実行〕ボタン押下時に Apex ジョブが作成され、順次実行されます。 ※ お客様の環境により、先の他のジョブが実行されている場合がございます。この場合は順に実行されます。
開始日時指定	〔実行〕ボタン押下するとスケジュール済みジョブが作成され、指定した日時になると Apex ジョブが作成され、順次実行されます。

- 5) 確認メッセージが表示されたら〔OK〕ボタンを押下します。

削除処理をスケジュールしました。

OK

6) 「状態」が「スケジュールされていません」から変わっている事を確認します。

ArgusGW バージョン1.x.xデータ削除

ArgusGWの旧バージョン(バージョン1.x.x)をご利用時に作成された、現在は未使用のデータを削除します。
バッチ実行中、ArgusGWの機能は利用可能ですが、稼働が集中しない時間帯での実行をお勧めいたします。

1.削除実行する項目を選択してください。

1.Argus一般情報	<input checked="" type="checkbox"/>
2.Argusフォルダ情報	<input type="checkbox"/>
3.Argus閲覧履歴情報	削除済み
4.未使用オブジェクト	<input type="checkbox"/>

2.削除バッチの実行タイミングを指定してください。

即時
開始日時指定 [2021/12/17 11:02] [2021/12/10 11:02]

状態 → スケジュールされています (実行日時: 2021/12/17 11:02)

実行

Copyright © Letty Co.,Ltd. All Rights Reserved.

状態	説明
スケジュールされていません	以下のいずれかの状態です。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ まだ〔実行〕ボタンを押下していない状態 ➢ 開始日時指定で〔実行〕ボタンを押下したが、削除した状態 ➢ 削除が終了した状態（オブジェクト名の横に「削除済み」と表示されます。）
スケジュールされています（実行日時：YYYY/MM/DD HH:MM）	実行日時に削除がスケジュールされている状態です。
実行中です	削除実行中です。終了までお待ちください。

7) 削除処理が完全に終了すると、「1. 削除実行する項目を選択してください。」 に表示されていたチェックボックスが「削除済み」と表示されます。（画面を更新して頂く必要があります。）

ArgusGW バージョン1.x.xデータ削除

ArgusGWの旧バージョン(バージョン1.x.x)をご利用時に作成された、現在は未使用のデータを削除します。
バッチ実行中、ArgusGWの機能は利用可能ですが、稼働が集中しない時間帯での実行をお勧めいたします。

1.削除実行する項目を選択してください。

1.Argus一般情報	削除済み
2.Argusフォルダ情報	削除済み
3.Argus閲覧履歴情報	削除済み
4.未使用オブジェクト	削除済み

2.削除バッチの実行タイミングを指定してください。

即時
開始日時指定 [2021/12/10 16:02] [2021/12/10 16:02]

状態 → スケジュールされていません

実行

Copyright © Letty Co.,Ltd. All Rights Reserved.

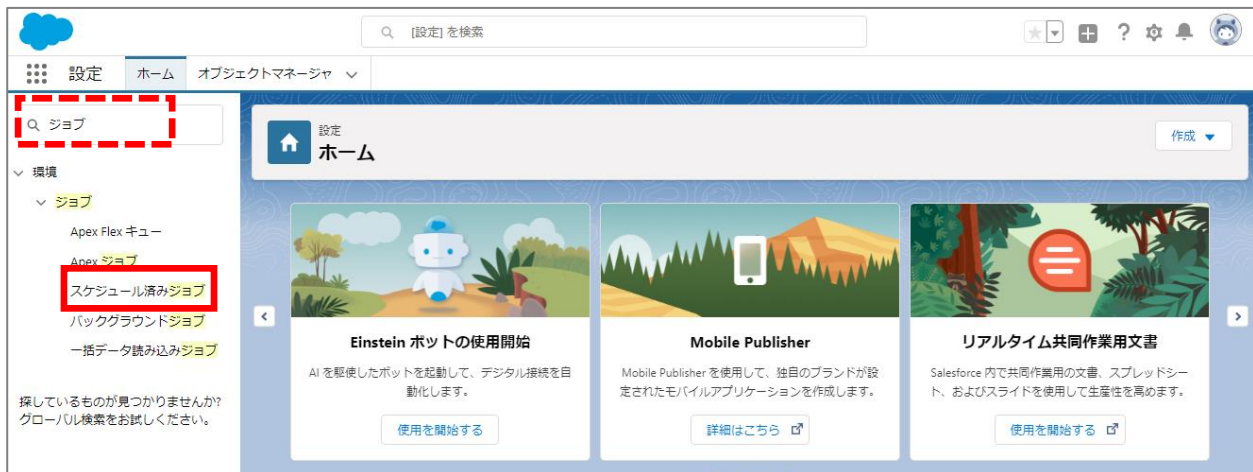
3-3 削除実行後の確認方法

〔実行〕 ボタン押下後のジョブの状況の確認方法は以下の通りです。

3-3-1 『開始日指定』を選択して実行し、まだ指定日が訪れていない場合

- 1) Salesforce 設定画面を開きます。
- 2) クイック検索ボックスに『ジョブ』と入力し、「スケジュール済みジョブ」を選択します。

■Salesforce 設定画面



- 3) 以下のレコードが出来ていれば問題ありません。

■Salesforce 設定 > ジョブ > スケジュール済みジョブ 画面

アクション	ジョブ名	登録実行者	申請済み	開始	次の実行スケジュール	種別
削除	ArgusV1 Delete_Batch	システム 管理者	2021/12/10 13:48		2021/12/17 11:02	スケジュール済み Apex

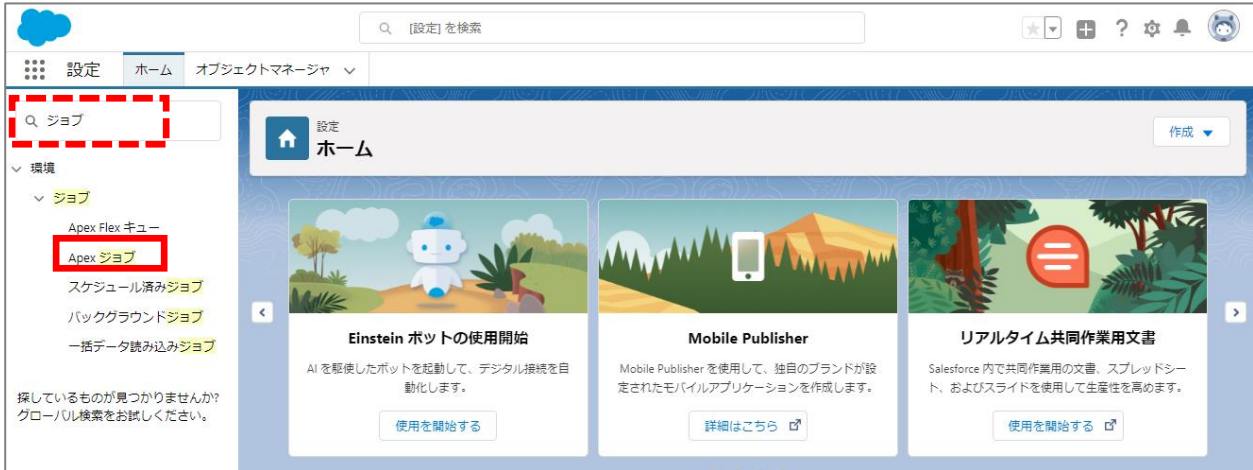
状態	説明
ジョブ名	ArgusV1Delete_Batch
申請済み	削除ツールで〔実行〕 ボタンを押下した日時
次の実行スケジュール	指定した日時

- ※ スケジュールした日時を変更したい場合は「アクション」より〔削除〕リンクを押下して頂き、改めて手順を実行してください。

3-3-2 『即時』を選択したか、『開始日指定』を選択した際の日時が過ぎている場合

- 1) Salesforce 設定画面を開きます。
- 2) クイック検索ボックスに『ジョブ』と入力し、「Apex ジョブ」を選択します。

■ Salesforce 設定画面



- 3) 以下のレコードの「状況」をご確認ください。

■ Salesforce 設定 > ジョブ > Apex ジョブ 画面

Apex ジョブ このページのヘルプ ?

すべての Apex ジョブの状況を監視し、必要に応じて処理中のジョブを中止します。

ビュー: すべて 新規ビューの作成

アクション	実行日	ジョブ種別	状況	状況の詳細	合計バッチ数	一括処理済み	失敗	登録実行者	完了日	Apex クラス	Apex メソッド	Apex ジョブ ID
	2021/12/10 14:36	Future	完了		0	0	0	システム 管理者	2021/12/10 14:36	systemMessageDao	receiveMessage	7072v00001Bo2nh
	2021/12/10 14:10	Apex の一括処理	完了		1	1	0	システム 管理者	2021/12/10 14:10	ArgusV1 Delete_Batch		7072v00001Bo1ut
	2021/12/10 14:10	Apex の一括処理	完了		1	1	0	システム 管理者	2021/12/10 14:10	ArgusV1 Delete_Batch		7072v00001Bo1ra
	2021/12/10 14:10	Apex の一括処理	完了		1	1	0	システム 管理者	2021/12/10 14:10	ArgusV1 Delete_Batch		7072v00001Bo1ur
	2021/12/10 14:10	Apex の一括処理	完了		0	0	0	システム 管理者	2021/12/10 14:10	ArgusV1 Delete_Batch		7072v00001Bo1uX
	2021/12/10 14:10	Apex の一括処理	完了		1	1	0	システム 管理者	2021/12/10 14:10	ArgusV1 Delete_Batch		7072v00001Bo1uh
	2021/12/10 14:10	Apex の一括処理	完了		1	1	0	システム 管理者	2021/12/10 14:10	ArgusV1 Delete_Batch		7072v00001Bo1uD
	2021/12/09 16:18	Future	完了		0	0	0	システム 管理者	2021/12/09 16:18	systemMessageDao	receiveMessage	7072v00001BnHKV

状態	説明	
状況	キュー	ジョブは実行待ちです。
	準備中	ジョブの start メソッドが呼び出されました。この状況は、レコードのバッチサイズに応じて数分かかることがあります。
	処理中	ジョブは処理中です。
	中止	ジョブはユーザによって中止されました。
	完了	ジョブはエラーあり/なしで完了しました。
	失敗	ジョブでシステム障害が発生しました。
Apex クラス	ArgusV1Delete_Batch ※ 同じ名前でも最大 7 行表示されます。	

※ 「状況」が『失敗』となった場合は、お手数ですが Argus サポートデスクまでお問合せください。

4 《活動》オブジェクトのカスタム項目のメンテナンス {No. 3}

今回のリリースで、《活動》オブジェクトにおいて既にパッケージで利用しなくなった項目について、名前を変更してパッケージの管理から除外します。

これにより、お客様の環境において当該項目の削除が可能となります。(残しておいて頂く事も可能です。)

4-1 変更による影響等

項目	内容
対象オブジェクト	《活動》(Activity)
変更の理由	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 当該項目について使用予定であったが利用する必要がなくなったため。 ➤ 《活動》はSalesforceの標準オブジェクトであり、パッケージで作成するカスタム項目の数を最小限に抑えるため。
変更内容	1) 項目の表示ラベルの変更 (2022年2月8日(火曜日)2:00~実施) ⇒表示ラベルの先頭に(未使用)と付加します。(詳細は 「4-2 対象項目リスト」 をご確認ください。) 2) 管理パッケージからの除外 (2022年2月9日(水曜日)2:00~実施) ⇒この後より、お客様にて削除が可能となります。
変更によるお客様環境への影響	なし(※)
変更後の動作	通常、パッケージで管理されている項目は“削除”をする事が出来ません。 今回のアップデートにより、当該項目は表示名を変更してパッケージの管理から除外するため、お客様の環境から任意で削除する事が可能となります。

※ 「ArgusGW」のカスタム項目の名称変更ですので、他のアプリケーションへの影響も原則ございません。
(「ArgusGW」のカスタム項目を活用してお客様環境で開発等をされている場合は別途ご相談ください。)

4-2 対象項目リスト

ArgusGW Spring'22 で削除可能となる「ArgusGW」のカスタム項目は以下の6項目です。

※ これらの項目は、2022年2月9日(水曜日)のアップデート完了後より削除が可能となります。

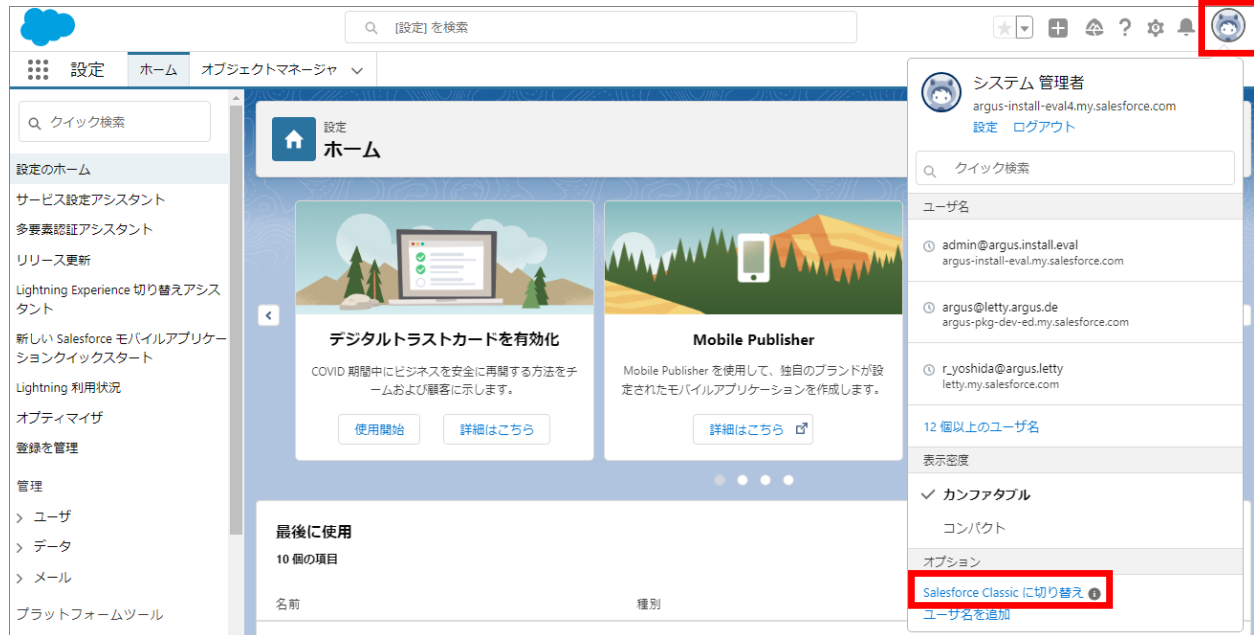
#	項目の表示ラベル	API 参照名
1	(未使用)公開組織	argusGW__PublicGroup__c
2	(未使用)施設	argusGW__Facility__c
3	(未使用)終了日 (Index)	argusGW__eDate_Index__c
4	(未使用)経過日	argusGW__DurationInDay__c
5	(未使用)親行動 ID	argusGW__PEventId__c
6	(未使用)開始日 (Index)	argusGW__sDate_Index__c

4-3 項目の削除方法

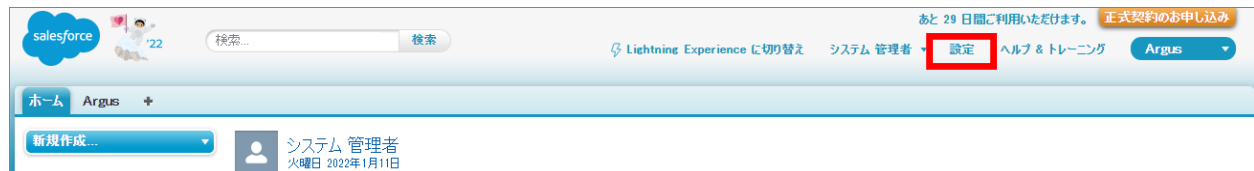
ArgusGW Spring'22 で削除可能となったカスタム項目を削除する場合、Classic モードから実施してください。

※ Salesforce の仕様上、管理パッケージから除外されたカスタム項目は Classic モードのみ削除が可能です。

1) 画面右上に表示されている丸形のユーザアイコンを押下して、Classic モードに切り替えます。



2) 「設定」を押下します。



3) クイック検索ボックスに『活動カスタム項目』と入力し、「活動カスタム項目」を選択します。



4) 削除したい項目に対して「削除」を押下します

項目編集
活動カスタム項目

このページのヘルプ

活動ページ(行動 & ToDo)に表示される項目です。活動のカスタム項目は、100 個まで作成できます。(注意)カスタム項目を削除すると、項目に入っているデータや、その項目を使用しているビューの検索条件が削除されます。

活動カスタム項目

アクション	項目の表示ラベル	API 参照名	インストール済みパッケージ	データ型	インデックス付き	制御項目	更新者
編集 削除	(未使用)開始日 (Index)	argusGW_sDate_Index_c	argusGroupWare	テキスト(10) (外部 ID)	✓		argusGroupWare, 2021/12/17 12:12
編集 削除	(未使用)経過日	argusGW_DurationInDay_c	argusGroupWare	数値(18, 0)			argusGroupWare, 2021/12/17 12:12
編集 削除	(未使用)公開組織	argusGW_PublicGroup_c	argusGroupWare	選択リスト (複数選択)			argusGroupWare, 2021/12/17 12:12
編集 削除	(未使用)施設	argusGW_Facility_c	argusGroupWare	選択リスト (複数選択)			argusGroupWare, 2021/12/17 12:12
編集 削除	(未使用)終了日 (Index)	argusGW_eDate_Index_c	argusGroupWare	テキスト(10) (外部 ID)	✓		argusGroupWare, 2021/12/17 12:12
編集 削除	(未使用)実行動向	argusGW_PEEventId_c	argusGroupWare	テキスト(18)			argusGroupWare, 2021/12/17 12:12

5) 『✓』を入力した状態で「削除」を押下します。

カスタム項目:(未使用)開始日 (Index)

カスタム項目を削除した場合:

- 連動項目または制御項目のすべての連動設定が削除されます。
- その項目のデータが使用されている割り当てルールやエスカレーションルールの動作に影響を与えます。

この項目は、管理パッケージの一部である場合は使用されなくなるため、カスタムインテグレーションで使用されていないければ削除しても問題ありません。カスタム項目を削除する前に、「設定」|「データの管理」|「データのエクスポート」をクリックすると、データレコードを保持できます。

この項目は、削除後、削除済みコンポーネントリストに 15 日間表示されます。この期間中は、項目および項目に保存されているすべてのデータの復元したり、項目を完全に削除したりできます。項目を復元するときに、項目のプロパティの一部が損失あるいは変更されることがあります。ご注意ください。15 日が経過すると、項目とそのデータは完全に削除されます。

はい。カスタム項目を削除します。

削除 キャンセル

- ※ カスタム項目を削除した場合でも、15 日間は使用可能です。(削除済み項目として追加されます)
即日削除を実施したい場合は「削除済み項目」から「消去」を押下してください。

カスタム項目の消去に関する詳細は以下の参考リンクを参照してください。

参考リンク

- [Salesforce ヘルプ : 削除されたカスタム項目の消去](#)

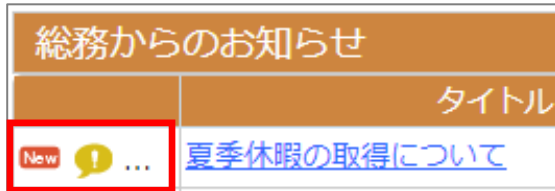
5 一覧画面のアイコンサイズの調整 {No. 5}

一覧画面のアイコンサイズを調整し、折り返しでアイコンがすべて表示されるようになりました。

対象となる機能は以下の通りです。

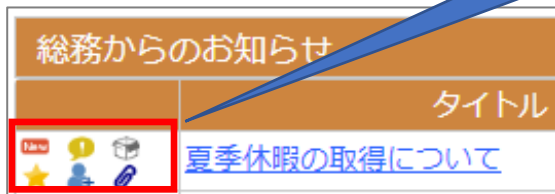
対象機能	掲示板、文書管理、電話メモ、社内メッセージ
------	-----------------------

■改修前（【掲示板】一覧画面）



アイコンのサイズを調整したことで、すべてのアイコンが表示されるようになります。

■改修後（【掲示板】一覧画面）



i Point

今回の調整により、一覧画面に表示されるレコードの件数が減ることはありません。

6 本資料に関するお問合せ先

本資料についてご不明な点等がございましたら Argus サポートデスクまでお問合せください。

【お問合せ先】

Argus サポートデスク 宛て

メールアドレス : support_argus@letty.co.jp

受付時間 : 10:00~17:00 (土日、祝日、年末年始、夏季をのぞく)

※受付時間外にご連絡を頂いた場合は翌営業日の受付とし、順次対応させていただきます。